



令和6年度 第1号
常磐野小学校 校長室だより
令和6年5月2日発行 文責 清川 秀一

学校教育目標

つながり、深まり、未来をつくる子

新年度がスタートして1か月が過ぎ、若葉が美しい季節となりました。ネイチャーランドでは子どもたちがモリアオガエルの大きな卵を見つけて、思わず声を上げていました。モリアオガエルは池の上にある木の枝に卵を産み付け、卵からかえると下の池の水の中に落ちて、大きくなります。卵からかえるのを子どもたちも楽しみにしています。



さて、1年前にコロナが5類に移行し、通常の学校生活が戻ってきました。コロナ禍を経て、人々の考え方やライフスタイルも変化し、リモートワークも珍しくなくなりました。子どもたちの生活についても気になるところで、昨年5年生が行った全国体力運動能力調査、運動習慣等調査において、本校の結果として、平日のスマホ等の時間が5時間以上と回答した男子児童が約30%、1日の睡眠時間が8時間未満の女子児童が約37%、朝ごはんを毎日食べない男子児童が約30%、運動やスポーツが嫌いな女子児童が約26%という結果が出ました。特に生活リズムについて改善が必要と思う数字をピックアップしましたが、食事や睡眠、運動習慣などについては、直接子どもたちの成長に関わるものですので、年度末の会議で学校でもいろいろと話し合いを行いました。そこで、子どもたちが元気になるような取組をしていこうと「ときわのげん木プロジェクト」をスタートさせました。

具体的には体育や休み時間において運動への関心を高めること、小1プロブレムへの対応として、幼

保小の連携「架け橋プログラム」の取組として園児との交流、生活習慣作りとして生活点検の工夫など、学校としてできることを考えて、様々な角度から取り組んでいきます。家庭生活も大きくかわることですので、ご家庭にもご協力いただき、子どもたちの中に「げん木」を育てていきたいと思っています。どうぞ宜しくお願い致します。

ときわの「げん木」プロジェクト



※ 校長室だよりについては、今年度も不定期にはなりますがお届けしようと思います。